

# トランプが 700 人の牧師と共に、コロナウィルスに対抗して祈りを捧げる

大統領がマイク・ペンスと共に、会議による祈りを呼びかける

【訳者 Greatchain】

これは、アメリカという国の最もすぐれたあり方が垣間見えた、重要なエピソードである。我々ほとんどの日本人は、相変わらず、軽薄なメディアや学界の影響を受けて、宗教や信仰というものに基本的に偏見をもっている。トランプやペンスの言葉を聞くがよい。彼らが本気で、祈りや宗教的实践を通じて、国家的な力を動かして、コロナウィルスを退治しようとしていることがわかるだろう。

これを見て、そんなことができるはずがないと言う唯物論者の方々は、例えば、デイヴィッド・ウィルコックが何度も繰り返し、ここでも何度も論じた、瞑想のもつ効果について読んでみられるがよい。今、意識というものが、現実世界を動かす力をもつことが立証されている。(これは“瞑想”であって“祈り”とは言われていない。)トランプもペンスも、現実にそれを体感しているらしいことが、彼らの力強い言葉遣いからわかる。

瞑想の効果を実験するために、7000 人の人々が一堂に会し、厳密な科学的条件の下に、愛や平和に意識を集中して瞑想した。すると、この現実世界から、テロリズムが実に 72 パーセントも減少した。これは確実に立証された科学的事実だという。

ではいったい、なぜ、それほど重大な事実が隠されているのか？ その理由も確実にわかっている。それは、それが知られては困る人々が、あまりにも多いからである。

Jack Murphy @NeonNettle

March 25, 2020



「私は、我々の国と、病気の人々のために、祈ってくださる方々に感謝したいと思います。あなた方の行いは、計り知れない価値をもつものです」と、トランプは言った。

ドナルド・トランプ大統領が、必死に次々に決定を下し、地球的なコロナウイルス危機と戦っている間にも、彼は時間を見つけて、マイク・ペンス副大統領の呼びかける、700人の牧師による祈りの会議に加わった。

この会議の招集は、「家族調査評議会」のトニー・パーキンズにより取り決められたものだ。

ペンスはこう述べた：——「私が大統領に、これを皆さん方にお話するつもりだと言ったとき、彼は特別に忙しい日程の真ただ中にいたのですが、私の顔を見てこう言ったのです、「私はその時間を見つけねばならない、どうしてもその必要があるのだ。」

「この招集での人々の祈りは、彼にとってすべてを意味するのです」とペンスは言った。

パーキンズの話では、この事態にトランプは楽観的だという。



トランプはしばしば、過去における祈りの力を重視し、多くの牧師たちと祈っている。「私は、我々が今まで以上に強くなって戻ってくると思う」と、彼は言った。

彼は牧師たちに語った：——「私はあなた方に感謝したい。あなた方は非常に靈感に満ちた人々で、私はずっとあなた方と共にある。」

「皆さん方は我々が、生命にとって正しいことをやってきたこと、そして我々があらゆることを、一緒になって懸命に協力してきたことをご存知だ。」

「私は、招集された多くの人々と共に努力してきた。非常に多くの人々だ。我々は、おそるべく沢山のサポートを得ているが、この困難はどうしても乗り越えねばならない。」

トランプがパーキンズから、アメリカは何を祈るべきなのかと訊ねられると、トランプはこう答えた：——「国家の健康、我々の国を強くすることだ。我々は何か驚くべきことをやろうとしていた。それがあつた日、突然終わった。だからやるべきことはそれだ。」

パーキンズがトランプのための祈りを終わったとき、大統領は、「あなたはさっき〈スタミナ〉という言葉を使ったでしょう。我々に必要なのはその〈スタミナ〉だ。どうもありがとうございました」と言った。



今月早々、大統領は、公的なアメリカの「国定祈りの日」を宣言した。

トランプがこの場を去ったとき、ペンスはこう述べた：——「大統領も私も、この祈りの共同体が強化されていくやり方に、これほどの強い靈感を受けたことはありません。実は、大統領は何度も言っていたのです——我々の連邦政府全体の全力を、この場所に合わせていかなければならないのだ、と。」

「しかし、皆さんはきょうここに来られることによって、また、あなた方の共同体のコロナウィルスに取り組む、エネルギーと使命によって、自分の信仰に手足の全体を捧げる方々です。」

「そしてあなた方は、きょう大統領が〈アメリカ人の人格的偉大さ〉と呼んだものを証明しています。そして我々は、あなた方がそれを続けてくださるよう願います。あなた方が示して下さる最上の実践を、我々も共有していきたいと思つています。」

トランプは過去においてもしばしば、祈りの力を強調している。

昨年5月も、トランプは、**祈りは人間のなしうる最強のものだ**と言った。

彼はまた、アメリカ合衆国が、祈りの習慣に高い価値を与える国になることを誓った。

「アメリカは他の誰よりも、祈りの力を現に信じており、永遠に信ずる国になるだろう」と、トランプは昼食時に語った、と LifeSiteNews は伝えている。

今月早々、大統領は、アメリカ合衆国として公的に、「**国定祈りの日**」を制定した。そして世界は、恐ろしいコロナウィルス爆発と戦い続けている。

「国定祈りの日」は、3月15日日曜日に行われた。

「我々は歴史を通じて、このような時節には、神の加護と神の力を求めてきた国家だ」と、トランプは公的宣言をした後、ツイッターに書いた。

——以上